



# 花みずき

本庄総合病院だより

発行日：平成18年6月1日  
発行者：石原通臣  
編集者：広報委員会  
後藤利和  
第16号  
住所：本庄市北堀1780  
TEL：0495-22-6111(代)  
http://www.honjo-hp.jp/

## 平成18年度目標と方策

病院長 石原通臣

平成18年度の目標と方策を決定しました。病院をあげて実行してまいります。

### 1 医療安全の向上

- 1) 「インシデント・アクシデントレポート」を積極的に提出し対策に活かす。
- 2) 患者さんの立場に立ったわかりやすく、ていねいな説明(クリニカルパスの活用)
- 3) 医療水準の向上  
看護師、若手職員、実習生の指導育成に積極的に取り組む。職員は自己研鑽に励むとともに、学会・研究会・研修会などに積極的に参加し、医療水準やサービスの向上に努める。
- 4) 医療安全に関する情報を収集し院内へ周知させる。
- 5) 薬剤の副作用、医療器具の不具合に関し、厚生労働省へ報告する。

6) 院内感染防止のため、処置前後に手洗いを遵守する。

### 2 働き甲斐のある職場作り

- 1) 人事考課の活用。
- 2) 各部署へ研修研究費、図書費を配布。
- 3) 各部署が目標値を設定。

### 3 支出を5%削減

- 1) 経費の削減を図るため、診療材料等の定期的見直しを行なう。
- 2) 職員の創意工夫を生かしたムリ・ムラ・ムダの減少、効率的な業務遂行に取り組む。
- 3) 後発医薬品を積極的に採用する。
- 4) 購入の効率化を推進する。

### 4 新入院患者数増加

(病院長)

## 胃がんの予防

外科 加部吉男

胃がんの予防には一次予防と二次予防があります。

一次予防とは食物や生活習慣に注意して胃がんになりやすくすることで、二次予防とは、検診を受けて胃がんを早期に発見することです。

食物の中で最も気をつけなくてはならないのは食塩です。厚生労働省の研究班が、塩辛、塩蔵魚卵など塩分の多い食品を毎日食べる人と、ほとんど食べない人を10年間追跡比較したところ、男女とも塩分摂取の多い人達では2.5~3.5倍胃がんが多く発生したと報告しています。食塩摂取の推奨量は一日6g以下です。日本人の平均摂取量は13gです。これからは出来るだけ減らすことが必要でしょう。

戦後胃がんが減少した最大の功労者は冷蔵庫だと言われています。冷蔵庫の普及は塩蔵品の減少につながり、胃がんが少なくなったといわれている訳です。また、野菜や果物の摂取は胃がんの発生を少なくするという多数の研究があります。欧米の推奨量は1日400~800gですが、日本人には少し多い量です。

人の胃にいるヘリコバクター・ピロリという細菌が、胃がんの発生に密接に関係していることが、最近分かってきました。

これらの生活上の注意点や、新しい胃がん検診について、7月8日講演会を開催いたします。ぜひご出席ください。(名誉院長)

## 市民の手による除細動が始まった

脳神経外科 北村守彦

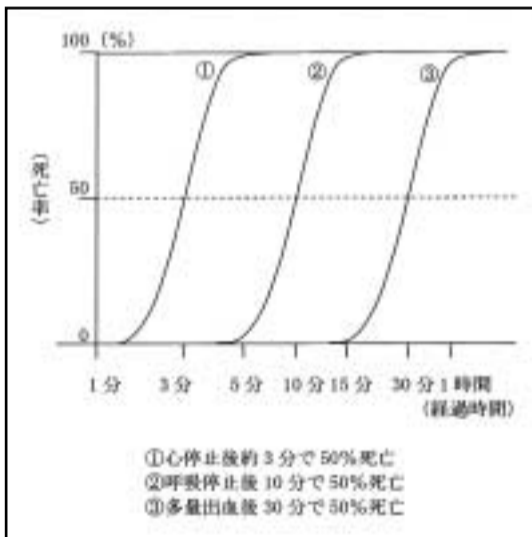
2002年11月21日、高円宮殿下がカナダ大使館でスポーツ中に心臓がケイレンする心室細動による心臓突然死で急逝された痛ましい出来事がありました。

このケイレンを正常に戻せる唯一の手段は除細動という電気ショックをかけることです。

カーラーの救命曲線(図参照)が示すように、心臓が止まってから3~5分以内に、心肺蘇生法を行い、しかもこの間に、他の人がポータブルの自動体外式除細動器(AEDと言います)を持って駆けつけ、除細動をかけると命が助かる成功率は高くなります。

しかし、現実には救急救命士が現場へ到着して除細動をかけるまで、平均9~12分かかり、救命できる確立は数%しかありません。

日本でも、平成16年7月から一般市民のAED使用による除細動行為が許可されました。スポーツ施設や駅など市民が多く集まる場所ではAEDが設置されるようになって来ま



カーラーの救命曲線

した。救急救命士の到着を待つまでもなく、現場に居合わせた人が、直ちに心臓マッサージ、気道確保、人工呼吸そしてAEDによる除細動といった一連の蘇生行為が救命システムに革命をもたらすこととなります。

因みに、AEDは胸にパッドを貼った後は、機械が自動的に電気ショックが必要かどうかを判断して、操作の手順を音声ガイドしてくれるため、一般市民でも容易に使用できます。

ただ、突然遭遇した時に、まごつかないように、講習の機会があれば受けられることをお勧めします。(脳外科医長)



AED

## 公開講演会のお知らせ

### 『胃がんの予防』

日時 平成18年7月8日(土)  
午後1時より

場所 本庄総合病院  
北病棟1階多目的ホール

講師 加部吉男先生  
本庄総合病院名誉院長  
埼玉県医師会胃がん検診部会長

参加費 無料

一般市民の方々向けの講演会です。多数のご参加をお待ちしています。

# 加部吉男名誉院長の歡送会

副院長 後藤利和

4月4日、加部吉男名誉院長の歡送会が140名以上の院内職員の出席のもと盛大に行われました。

加部先生は当院の開院以来18年間の長きに渡り院長として手腕を発揮され、今日の本庄総合病院を築いて来られました。今年2月に行われた日本病院機能評価の受審後に依願退職されることになりました。受審に向けてこの1年間、全職員がほんとうに一丸となって頑張れたのも加部先生の叱咤激励によるところが大であったと思われま

す。加部先生はこれからも週1回外科外来の診療に当たられます。今後ともいろいろとご指導をいただきたいと思

れさまでした。職員一同心より感謝申し上げます。

最後に先生と奥様のご健勝をお祈り申し上げます。

(広報委員会委員長)



# 入職にあたって

総務課 小此木 薫

4月4日、今年も当院多目的ホールにおいて当医療法人の入職式が挙行されました。

看護師・准看護学生を始め理学療法士など新たに36名が入職いたしました。

入職式に当たっては、例年どおり2日間にわたり、石原院長を筆頭に各部署長により「医療従事者としての心得」「病院の地域社会における使命・役割」など広範囲にわたりオリエンテーションがなされました。

当方からは、特に2点についてお話しさせて頂きました。第1点は、「常に真摯であれ」ということです。常に真面目で謙虚な態度は患者さんに対しての接遇の基本であります。ややもすると優越的な対応を取りがちな職場において、このことは、いつも心に留めておく必要があります。

「もしも自分や、家族が患者であったら」、この気持ちを全ての職員があらゆる場面で持てるようになることが患者さんへの一層のサービス向上に繋がるのではないのでしょうか。

第2点は、情性の排除です。いつもの決まった作業は必然的に情性、思い込み、ケアレスミスを招き医療事故につながる危険性があります。医療事故が頻発している昨今この様な事故を防止する為、今回も医療安全に関するオリエンテーションを行いました。

最後に、患者さんからも、この1年生職員に対して、ご指導を頂き、成長を見守りたいと思

(総務課長)

# 溶連菌感染症

小児科 野口 由美子

A群 溶血性連鎖球菌による急性咽頭扁桃炎は溶連菌感染症として幼稚園や小学校で流行することや、迅速抗原検査を使用し外来で短時間のうちに診断ができることなどによりお母様方によく知られています。

溶連菌感染症は幼児期から学童期に多くみられ、気温が低く乾燥した冬期に好発します。感染経路は飛沫感染で家庭内や幼稚園や小学校で感染の危険性が高くなります。

1日～4日間の潜伏期の後、発熱・咽頭痛・頭痛・吐気・嘔吐・腹痛などの症状で発病します。

診療所見は咽頭発赤・口蓋扁桃の発赤・腫脹・軟口蓋の点状出血斑・イチゴ舌を認めます。頸部リンパ節の腫脹や顔・体・四肢に細かい紅色疹を伴うこともあります。

治療は抗生物質の内服です。内服を開始すると速やかに症状はよくなりますが、症状がよくなったからといって抗生物質を中止することはできません。短期間で内服を中止すると再発して発熱を繰り返します。さらに溶連菌感染症は急性糸球体腎炎・リウマチ熱・アレルギー性紫斑病などの合併症を起こす危険性があるため、また周囲への感染を防ぐため菌を完全に消失させる必要があります。症状がなくなった後も抗生物質の内服を10日間は続けなくてはなりません。

溶連菌感染症で合併症がなく、症状がなくなれば内服を続けながら登園・登校はできます。急性腎炎の早期発見のため発病後2週から4週で尿検査を行っています。

(小児科医長)

# 雷魚日記 <ハイ、どうも~>

看護部 松岡直人

去年の7月、忘れもしない炎天下の日。関東地方の沼に知人と釣りに行き、あるアングラー達(釣り人)に出会った。その中の一人が私達に『ハイ、どうも~』と声をかけてきた。そう、彼らは雷魚という魚をこよなく愛するアングラー、『ライギョマン』だった。

この日、この人達が釣りあげた雷魚という魚の姿を初めて目にし、私と知人は感動に震えた。「これが雷魚かあ...」雷魚というデカイ魚と、そしてその魚を釣りあげるライギョマンとの衝撃的な出会いだった。この出会いをきっかけに私と知人はこのゲームフィッシングの虜になってしまった。

まず、この釣りに足を踏み入れて驚かされたことは次のルール

- 1: 雷魚専用タックルを使用すること。
- 2: 子守り中の雷魚は狙わないこと。
- 3: フィールドの情報は名までとし、詳しい地名・場所等は人に教えて

はならない。  
4: シーズンオフを出来るだけ長くとり、雷魚を休ませてあげること。  
「なんでこんなにルールがあるの?」と思う人もいるかもしれない。それは現在、雷魚という魚を取り巻く厳しい環境にある。

昔はどの川にも普通に見られた雷魚もブラックバスなどと同じく、魚を食べる外来魚、害魚とみなされ駆除され、さらに農薬や土地開発の影響で減り続けている。その上、他の魚に比べ極端に繁殖率が低い。それゆえに雷魚を愛するライギョマンによってルールが作られたという経緯がある。

ある日、釣りの最中にライギョマンの一人がこんなことを話し出した。「最近さあ、自分の子供を虐待して逮捕される親がニュースによく出るよねえ? 雷魚の親は自分の子供を一生懸命守るのにな。雷魚を見習ったほうがいいよね(笑)。」たかが魚釣りで大げさな話



だ、と笑う人もいるかもしれない。しかし、私はそうは思わない。この雷魚という魚をとおして日々、色々なことを学ばせて貰っているように感じる。

これからライギョゲームの本シーズン、夢は大きく80センチからメーターオーバーのモンスタークラスの雷魚と出会いたいと思っている。休日は釣り仲間とフィールドで合言葉の挨拶を交わすのがとても楽しみである。

『ハイ、どうも~』  
今、自分が一番好きな言葉である。これからも雷魚という魚と、そして楽しい時間を共有することの出来る仲間を大切にしていきたいと思う。

(手術室看護師)

## 関連施設

本庄福島病院  
内科・小児科・療養型  
本庄市千代田1-1-18 ☎0495-22-5211

介護老人保健施設 彩の苑  
本庄市千代田1-1-21 ☎0495-23-3988

伊勢崎福島病院  
内科・神経内科・胃腸科・循環器科・外科・整形外科・産科  
リウマチ科・リハビリテーション科・泌尿器科  
伊勢崎市大手町18-10 ☎0270-24-3456

熊谷福島病院  
内科・療養型  
熊谷市宮前町1-135-2 ☎048-525-2522

上武病院  
精神科・内科・歯科  
本庄ナーシングホーム  
本庄市小島5-6-1 ☎0495-21-0111